

東京理科大学 女性活躍推進会議

ニュースレター vol.2
2015.5

向井千秋特任教授が 副学長に就任

平成27年4月1日付で、
向井千秋特任教授が副学長に就任しました。
担当は「国際化推進」・「女性活躍推進」です。

今後、担当副学長として
女性の活力をいかした教育・研究の一層の活性化や
女性人財の育成・啓発等の先頭に立って、
本学の女性活躍を推進していきます。



女性活躍推進会議は、これまで、女性教員対象アンケートの実施、女性理工系人財のための講演会・ワークショップの開催、ニュースレターの発行等、本学女性教職員、在学生等の協力を得ながら、主に意識啓発に関する取組みを行って参りました。

本学は、「日本の理科大から世界の理科大へ」を中長期目標としています。それを実現するために、女性人財の力をもっと活用し、教育・研究を一層活性化していくことを目指しています。

今後は、新たに就任した担当副学長のもと、豊かな人財の集まる未来志向のコミュニティを目指し、教職員、在学生、さらには卒業生の協力も得て「オール理科大」で教育・研究の一層の活性化を目指し、取り組んでいきます。

CONTENTS

- 向井千秋特任教授、副学長就任 …… p.1
- 女性活躍推進講演会・
ワークショップ開催報告 …… p.2-3
- WOMAN × SCIENCE 開催 …… p.4

開催報告 女性活躍推進講演会・ワークショップ 「見つけよう!あなたの活躍フィールド」を開催

昨年12月13日(土)に葛飾キャンパスで女性活躍推進講演会・ワークショップ「見つけよう!あなたの活躍フィールド～理工系女性人財の大きな可能性～」を開催しました。このイベントは、女子学生・女性研究者が理工系人財として活躍する場を見つけることを目的に、女性活躍推進会議が女性教員の協力を得て実施した企画です。

参加者からは、「視野が広がった」、「将来を考えるきっかけになった」、「社会へ出る不安が軽くなった」等の感想が寄せられました。また、ワークショップの意見交換では、参加者相互の交流を深める機会にもなりました。女性活躍推進会議では、今後もこのような企画を実施していく予定です。



■タイムスケジュール・内容:

10:30~10:35	開会 挨拶						
10:35~10:45	学長メッセージ (藤嶋 昭 学長)						
10:45~11:00	理事長メッセージ (中根 滋 理事長)						
11:00~11:30	基調講演 講演者:黒田玲子 教授(東京理科大学 総合研究機構) テーマ:「世界が、地球が、あなたの活躍を待っている」						
11:30~11:35	- 移動 -						
11:35~12:30	ランチョンネットワーキング (昼食交流会) (※午後はグループに分かれてワークショップ)						
12:30~13:40	<table border="1"> <tr> <th>ワークショップ【グループA】</th> <th>ワークショップ【グループB】</th> <th>ワークショップ【グループD-1】</th> </tr> <tr> <td> 研究者・技術者としてのワークライフバランス ～長期的展望と視野を持って～ (150分間[含休憩10分間]) 対象:主に若手研究者、卒業生 </td> <td> 女性人財のロードマップを作る ～10年後の未来想像図～ (70分間) 対象:主に学生 </td> <td> 理工系分野に魅せられて ～成功する秘訣～ (70分間) 対象:主に学生 </td> </tr> </table>	ワークショップ【グループA】	ワークショップ【グループB】	ワークショップ【グループD-1】	研究者・技術者としてのワークライフバランス ～長期的展望と視野を持って～ (150分間[含休憩10分間]) 対象:主に若手研究者、卒業生	女性人財のロードマップを作る ～10年後の未来想像図～ (70分間) 対象:主に学生	理工系分野に魅せられて ～成功する秘訣～ (70分間) 対象:主に学生
ワークショップ【グループA】	ワークショップ【グループB】	ワークショップ【グループD-1】					
研究者・技術者としてのワークライフバランス ～長期的展望と視野を持って～ (150分間[含休憩10分間]) 対象:主に若手研究者、卒業生	女性人財のロードマップを作る ～10年後の未来想像図～ (70分間) 対象:主に学生	理工系分野に魅せられて ～成功する秘訣～ (70分間) 対象:主に学生					
13:40~13:50	- 休憩・移動 -						
13:50~15:00	<table border="1"> <tr> <th>ワークショップ【グループC】</th> <th>ワークショップ【グループD-2】</th> </tr> <tr> <td> グローバルを意識することからはじめよう ～グローバル社会へ羽ばたくための『気づき』から『行動』へのヒント～ (70分間) 対象:主に学生、若手研究者 </td> <td> 理工系分野に魅せられて ～感性を活かしたコミュニケーション～ (70分間) 対象:主に学生 </td> </tr> </table>	ワークショップ【グループC】	ワークショップ【グループD-2】	グローバルを意識することからはじめよう ～グローバル社会へ羽ばたくための『気づき』から『行動』へのヒント～ (70分間) 対象:主に学生、若手研究者	理工系分野に魅せられて ～感性を活かしたコミュニケーション～ (70分間) 対象:主に学生		
ワークショップ【グループC】	ワークショップ【グループD-2】						
グローバルを意識することからはじめよう ～グローバル社会へ羽ばたくための『気づき』から『行動』へのヒント～ (70分間) 対象:主に学生、若手研究者	理工系分野に魅せられて ～感性を活かしたコミュニケーション～ (70分間) 対象:主に学生						
15:00~15:10	- 休憩・移動 -						
15:10~15:50	ワークショップのまとめ (40分間)						
15:50~16:00	閉会 挨拶						



参加者からの声

ワークショップに参加して 磯金 マリコ さん ● 工学部第一部 機械工学科4年

講演者の方々みなさんが自分の信念を大切にしながらキャリアを重ねておられて、とても充実した生活を送られていることがお話を通じて伝わってきました。私も自分の軸をしっかりと持っていることに挑戦していきたいと改めて感じました。また機会があればぜひ参加したいと思います。



イベント全体を通じて 南保 茉帆子 さん ● 基礎工学部 生物工学科 4年

社会で活躍されている女性の方々にお話をうかがうことができ、とても良かったです。今後の進路を決めていく上でも、大変参考になりました。特にワークショップでは、社会人の方々在实际にどのような生活を送っているかなど、普段ではあまり知ることができないことを知ることができたので良かったです。



理系女性教員として

谷崎 美穂 さん ● 國學院高等学校教諭 入試広報委員長

大学を卒業して12年。母校には新たな葛飾キャンパスができ、行ってみたいと思っていたところに、この企画へパネリストとしての参加依頼が舞い込んできました。男性イメージの強い母校に女性が集まる。どのような感じなのだろうとワクワクしながら足を運ぶと、そこには生き生きと輝かしいパワーが溢れていました。

教員として歩んできた12年を振り返ると、無意識ではありますが、勤め始めたときは男性に負けまいと肩肘張っていた記憶があります。しかし、「女性として」という視点を大切にしようと思うようになった頃から、自分らしさを失うことなく教員としての道が開けていったように感じます。

まだ数こそ少ない理系の女性ですが、各分野における活躍は大きなものです。男性とは異なった視点をもつからこそ、女性の存在も貴重なのでしょう。

今回、女性の学生に少しでも希望をもってもらえたら、と思いパネリストとして参加した私ですが、各分野で活躍する多くの女性と出会い、パワーをいただきました。理系女性の益々の活躍をお祈り申し上げます。

研究者として、女性として、 キャリアを築くこと

高井 文子 准教授 ● 経営学部経営学科

当日は、ワークショップグループA「研究者・技術者としてのワークライフバランス」のファシリテーターを務めさせていただきました。この世界にいて、教育や研究について議論することは多々ありますが、研究者としてのキャリアと、出産などのライフイベントや育児・家事といかに両立させていくか、ということが話題に上ることはほとんどありません。このことは、研究者を目指す若い女性にとって大きな不安であり、その未来を摘んでしまっているのではないのでしょうか。

ワークショップでは、パネリストの先生方にキャリアとライフイベントとの両立について、とても具体的なご経験を交えながらお話いただき、また、困難を乗り越えるためのさまざまなアドバイスをいただきました。私自身も自分の経験や悩みをお話しさせていただくことで、心がとても軽くなったように感じます。最後に参加者が、会に参加をしてこれから進む将来に大きなヒントと勇気を与えられた、と言ってくれたことは大変嬉しく感じました。

女性もつ力はしなやかで大きく、とても強いものです。この力を支え、伸ばしていくために、理科大は今後もこのような取り組みを継続していくべきだと確信いたしました。

WOMAN × SCIENCE

理系女子が創るオドロキ

～「科学のマドンナ」プロジェクト & 女性活躍推進会議 合同イベント～

2015.5.31

14:00 ▶ 17:00
13:30 受付

場所 東京理科大学 葛飾キャンパス 図書館大ホール
対象 女子中・高校生とその保護者、大学生、教育関係者
定員 350名(定員になり次第締切)
参加費 無料

申込方法 Webサイトにて
<http://www.tus.ac.jp/madonna/spring/>
申込締切 5月27日(水)



スペシャル
トーク
セッション

スプツニ子! × 向井千秋

WOMAN × SCIENCE *beyond boundaries*

理系アーティスト・科学者・宇宙飛行士、それぞれの立場から科学への思いを語るスペシャルトークセッション。

Photo by Tomoya Uehara



Sputniko! (スプツニ子!)

現代美術家
マサチューセッツ工科大学(MIT)メディアラボ助教、
同研究所デザイン・フィクション研究室ディレクター

1985年東京生まれ、ニューヨーク・ボストン在住。インペリアル・カレッジ数学科および情報工学科を卒業後、英国王立芸術学院(RCA)デザイン・インタラクションズ専攻修士課程を修了。在学中より、テクノロジーによって変化していく人間のあり方や社会を反映させた映像、音楽、写真、パフォーマンス作品を制作。主な展覧会に、「東京アートミーティング うさぎスマッシュ」(東京都現代美術館、2013)、「Talk to Me」(ニューヨーク近代美術館(MoMA)、2011)など。2013年よりマサチューセッツ工科大学(MIT)メディアラボ助教に就任し Design Fiction Group をスタート。VOGUE JAPAN ウーマン・オブ・ザ・イヤー 2013受賞。2014年 FORBES JAPAN「未来を創る日本の女性10人」選出。2011年伊 Rolling Stone 誌「今後10年に最も影響を与えるデザイナー20人」選出。

Photo by NASA / JAXA



向井 千秋

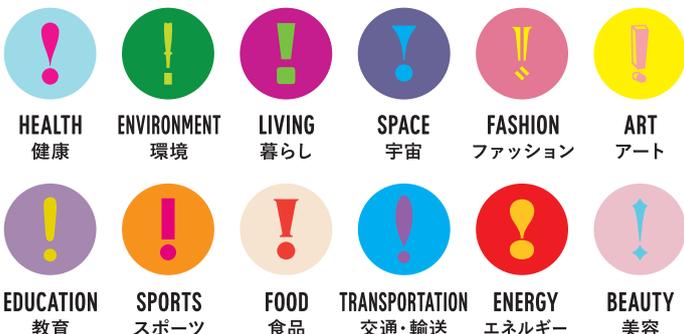
東京理科大学副学長
宇宙飛行士
医師・医学博士

1977年、慶應義塾大学医学部卒業。同年、医師免許取得。1988年、同大学博士号取得。同大学医学部外科学教室医局員として病院での診療に従事。1985年、NASDA(現 JAXA)より搭乗科学技術者として宇宙飛行士に選定される。アジア初の女性宇宙飛行士として1994年、98年と2度の宇宙飛行を行い、微小重力下でのライフサイエンスおよび宇宙医学分野の実験を実施。2005年より07年まで、国際宇宙大学の教授として、国際宇宙ステーションでの宇宙医学研究ならびに健康管理への貢献を目指した教育を行う。2015年4月、東京理科大学副学長に就任。

ポスター
セッション

理科大の女子大学生による、 さまざまな研究分野の紹介

現役女子大生から、彼女たちが研究している内容を
直接聞くことができます。



※上記研究分野は一例です。

アクセス

東京理科大学 葛飾キャンパス

〒125-8585 東京都葛飾区新宿6-3-1

電車

JR常磐線(東京メトロ千代田線)
「金町」駅下車徒歩約15分

京成金町線「京成金町」駅
下車徒歩約15分



問い合わせ

東京理科大学 広報課
Tel: 03-5228-8107
Email: koho@admin.tus.ac.jp



東京理科大学

東京理科大学は女性理工系人材の活躍を応援しています。